

第 46 回薬事エキスパート研修会
日本の医療データベースの現状と医薬品リスクマネジメント
～DB の具体的事例及び医療情報学の観点を交えて医薬品に関する疫学的アプローチを展望する～

主 催 後 援	財団法人日本公定書協会 日本製薬団体連合会 日本製薬工業協会 社団法人東京医薬品工業協会 大阪医薬品協会 日本 OTC 医薬品協会 日本ジェネリック製薬協会	米国研究製薬工業協会(PhRMA) 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan) 日本 CRO 協会 社団法人日本医薬品卸業連合会 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
------------	--	--

第 42 回薬事エキスパート研修会では「薬剤疫学を基本とした安全対策導入の国際的動向とわが国の動きを探る」と題して講演・討論を頂きますが、欧米諸国では産・官・学ともに医療データベースが薬剤疫学目的で広く応用されているのに比し、わが国においてはまだ活発に行われているとはいえない状況といわれております。

そこで今回は、日本の各種医療データベースの現状を疫学・生物統計・医療情報の専門家の先生方からご紹介頂き、相互理解を深めるとともに、大規模医療データベースを二次利用することに対する製薬業界の期待（臨床開発に際しての適応疾患患者の状況把握、臨床医からの情報収集における二重入力等の負担の軽減、市販後のまれで重篤な副作用の迅速かつ効率的な把握等）、及びその利活用に対する検討状況を、医療情報学の観点を交えて討論頂きます。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同頂き多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成 21 年 3 月 3 日(火) 10:00～17:30	こまばエミナース ホール 東京都目黒区大橋 2-19-5 Tel. 03-3485-1411(代) 地図は協会ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法及び期日

(1) 下記**払込取扱票**にてお申し込み下さい。

法人会員：当協会から送付する規定の払込取扱票使用

法人会員以外：

ゆうちょ銀行、郵便局備えつけの払込取扱票使用

振込先：(財)日本公定書協会

振替口座 00190-9-97409

*** 次の事項を払込取扱票の通信欄にご記入の上、受講料をご送金下さい。折り返し聴講券をお送り致します。郵便振替払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。**

通信欄に必ずご記入下さい。

- | |
|---|
| <p>(1) 会社名、所属</p> <p>(2) 聴講者名：1 枚につき 1 氏名</p> <p>(3) 連絡先：郵便番号、住所、電話番号</p> <p>(4) 「46-医療DB」の文字</p> <p>(5) e-mail (研修会の案内をご希望の方のみ)</p> |
|---|

*** ゆうちょ銀行及び郵便局以外の銀行振込、現金送金をご遠慮願います。** なお、受講料受領後の払い戻しは致しませんので、予めご了承下さい。

(2) 入金確認順に受け付けます。

平成 21 年 2 月 17 日 (火) 以降のお振り込みの場合は下記問合先にご連絡下さい。又は、協会ホームページ (<http://www.sjp.jp>) をご覧ください。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

- ・ **日本公定書協会法人会員**
1 名につき 10,000 円
(法人会員は 1 口につき 2 名が会員扱い)
- ・ **個人会員/非会員** 1 名につき 15,000 円
- ・ **行政/アカデミア/医療機関/学生**
1 名につき 3,000 円

3. 問合先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
財団法人 日本公定書協会
電話 03-3400-5634(代)
03-3400-5644
(薬事エキスパート研修会担当)

4. 注意事項

- 法人会員にお送りした規定の払込取扱票は、会員証となりますので、必ず関係部門へお廻し下さい。
- 当日、撮影及び録音はご遠慮願います。
- 原則として電話、FAX での受付及び当日受付は致しませんのでご了承下さい。

第 46 回薬事エキスパート研修会
日本の医療データベースの現状と医薬品リスクマネジメント
～DB の具体的事例及び医療情報学の観点を交えて医薬品に関する疫学的アプローチを展望する～

10:00～10:05 開会挨拶

寺尾 允男
(日本公定書協会会長)

10:05～10:55 医療情報の二次利用に対する製薬会社の期待

山本 尚功
(日本イーライリリー株式会社信頼性保証本部 安全性情報部
サーベイランス&エビデミオロジー室 担当課長)

10:55～11:45 薬剤関連データベースの現状：自発報告と使用成績調査について

藤田 利治
(情報・システム研究機構 統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター 教授)

11:45～12:45 休憩

12:45～13:35 レセプトオンライン化の現状とナショナルデータベース化の見通し

岡本 悦司
(国立保健医療科学院 経営科学部 経営管理室長)

13:35～14:25 病院診療データベースの現状：厚生労働省診療情報交換推進事業 (SS-MIX) をベースに

木村 通男
(浜松医科大学医学部附属病院 医療情報部 教授)

14:25～14:50 休憩

14:50～15:40 臨床・疫学データベースの2次利用：疾患登録と追跡データベースを例として

大橋 靖雄
(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻生物統計学 教授)

宮田 裕章
(東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学 准教授)

15:40～16:30 我が国における健康情報活用基盤 (Electronic Health Record) の検討状況

山本 隆一
(東京大学大学院情報学環 准教授)

16:30～17:30 総合討論

共同司会： 折井 孝男 (NTT 東日本関東病院薬剤部長)
土井 脩 (日本公定書協会理事長)

* 演題, 講師, 時間, 会場等一部変更する場合がありますので, 予めご了承下さい。

財団法人日本公定書協会
<http://www.sjp.jp>